

# おいしいね!

生協 アイチョイス 岐阜機関紙



2024.11  
石路 (ツブキ)号

初冬に黄色い花が咲く植物で艶のあるふきに似た葉をもつことからの名前

発行責任者

生活協同組合アイチョイス岐阜  
理事長 子安 貞継  
☎058-215-5566

暑い夏が長引いて、秋がいつもより足早に過ぎていく気がします  
季節の変わり目がわかりにくくなりましたが体調を整えていきましょう

秋松さんの  
いつものコラム

## プラスチック / 人と物の関係

北の海にプラスチックが塊となって漂い、それをクジラががぶりと呑み込む  
自分が呑み込んだような気分になり、思わず口を手で被ってしまった  
…ある日のテレビ画面を見ていた時のことです

私達はプラスチックのおかげで昔にくらべ随分と楽な暮らしをしています  
台所や洗面所を見ただけでもあれもこれもとプラ製品が並んでいます

岐阜市で使用済みのプラスチックの回収が始まった時には  
“やっと出来るようになった”という気持ちの中に  
僅かな安堵感がありました

いやいや何を安堵しているのか。

これはプラスチックによる環境や人体への影響など本質的な問題の  
解決につながるほんの小さな入り口のひとつにすぎないのです

私と同世代の方は20歳頃までプラスチック製品に囲まれて  
暮らすような生活はしていませんでした

身近にある木・土・草などで出来たものを日常的に使っていました

その道具を長持ちさせるための取扱い方や知恵を年長者から教わりました

使い込むと元とは違った美しさを見る事ができたり壊れやすい道具を大切に扱う術も覚えました

そこには人と物の間に言葉では表せないような心のつながりが生まれ

道具を使う人と共に生きている感覚がありました

日本の自然から人間がもらう事が出来た文化だと思います

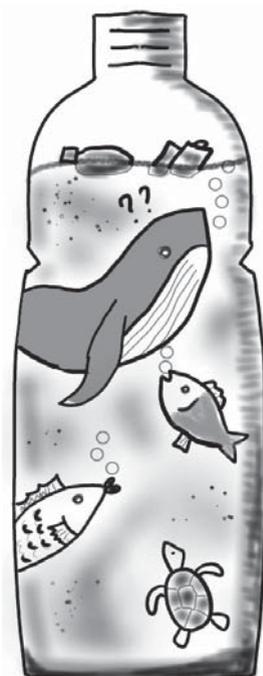
アイチョイス岐阜の組合員活動に「はなしルフレンズ(地区組合員交流会)」と

「テーマ会」が発足して一年あまりになります

そこで組合員の皆さんと生き方、文化、食べ物について話し合うのはどうでしょう

プラスチック問題も自分なりの解決や方法が生まれるのではないかと思います

[Y.A]



おいしいね!

理事  
活動

飛騨市産地交流会

8/23

■岐阜県 高山市・飛騨市

高山久々野で、40年以上安心・安全・皮まで食べられる桃やリンゴを出荷している青木果樹園さん、  
飛騨市神岡で有機農法で野菜作りをしてみえる雲英(きら)頭一さんの“ありがとうファーム”に伺いました。 [理事K.Y]

青木果樹園 青木 寛征さん

ネオニコチノイド系農薬不使用、機械や人力で草を刈り、除草剤は40年間使わず、果樹栽培を  
されています。昨今の激しい気候変動の中、きびしいアイチョイス基準をクリアし、さらにネオニ  
コフリーで栽培・出荷して下さっている希少な生産者さんです。

標高700mの果樹園には、夏の強い日差しを浴びて、青いリンゴが力強く育っていました。

広い農園では夏は雑草との戦い、冬は雪の中、脚立の上での剪定作業が大変とのこと。青木さんは、  
サンラテールというミネラルの多い天然の鉱物を細かく砕いて土に散布されています。その鉱物を  
手にしながら、「おいしくて安全なものを目指して、健康的な土づくりをしています。できるだけ  
低農薬で栽培しています」と誇らしげに話されていました。

人垣の後ろの方で、青木さんのお父さんが目を細めてうれしそうにされていたのが印象的でした。  
父から子へと栽培の技術とともに、おいしく安全な桃とリンゴづくりへの熱い思いが引き継がれて  
いるように感じられました。

今シーズン最後の桃の収穫となった「昭和白桃」を試食させていただきました。果肉はもちろんの  
こと、桃の皮のなんとおいしいこと！驚きました。来年は必ず注文したいと思いました。

ありがとうファーム 雲英頭一さん



飛騨市は令和7年の「オーガニックビレッジ宣言」に向けて有機農業産地づくり(種を待つプロジェ  
クト)に力を入れています。プロジェクトの中心が「飛騨市有機農業推進協議会」、通称V9です。Vは  
VegetableのV。雲英さんは会長です。

雲英さんは、20代後半から環境・飢餓・食料廃棄問題に関心を持ち、千葉県で有機農業に携わって  
いましたが、2011年、東日本大震災に被災。それを機に、さまざまな縁をたどって岐阜県飛騨市に  
移住されたとのこと。移住にあたって、手厚くサポートしてくれた飛騨市の方々。「親切にしてくれた  
飛騨の人たちに恩返しをしたい」と話されていました。

飛騨市には、美しく豊かな水、多様な広葉樹林が生み出した豊かな土壌があり、それを生かした農業  
の歴史があり縄文時代の遺跡も多い。先祖代々、農地を守ってきた歴史がここにはある。「有機農業を  
地域全体で進めていくことで、未来のある子どもたちに、この豊かな土地と環境を残したい」と熱く  
語って下さいました。

雲英さんの話をお聞きしながら、お世話になった方々への思いと飛騨市の自然の力を借りて豊かに  
育てられている野菜たちへの感謝の気持ちが、「ありがとうファーム」なんだと思いました。

理事  
活動

ネオニコフリーオンライン学習会

8/29

講師 神戸大学大学院 星信彦教授

ネオニコフリー学習会「食品に潜む農薬の安全性とリスク評価の仕組み」にオンラインで参加しました。

農薬は少しなら安全だと言われてきたけれど、その根拠はなく水道水に混入して尿や血液から農薬の成分が検出され、いまや  
赤ちゃんの尿からもでてくるそうです。特に1990年代に開発されたネオニコチノイド系農薬は毒性と危険性があり

①浸透性…洗っても落ちない②残効性…植物、地中に長期に残留し、河川を汚染する③神経毒性…神経伝達を攪乱する  
3つの特徴があるとのこと。これを聞いているだけでも本当に恐ろしいことだとぞっとしました。そんなの絶対口にしたくないと  
思いますが、日本では普通にお店で売られている農薬なので知らないうちに体に蓄積されているのです。登録されたネオニコチ  
ノイド系農薬は7剤、なんとそのうち6剤は日本で開発されたものだそうです。農薬に色でも付いていたら分かりやすくていいのに、  
と思うけれどそんなことはないので、自分で事実を知って学んで選択することが大事なのだとあらためて思いました。

星信彦先生が出演されたTBSの「報道特集」ネズミの実験の映像も紹介されました。何回見ても農薬の怖さを再確認させられ  
ます。機会があったらぜひ見ていただきたい番組です。

そして、以前は母親から子どもに曝露される、ということが言われてきたけれど、最近は父親からも曝露があると分かってきた  
そうです。すぐ子どもに影響がなかったとしても孫、ひ孫に影響していく可能性がある。今、この時代に生きている者としての  
責任は大きい、と感じました。 [理事Y.N]

理事活動 なかや農園交流視察 9/11 ■岐阜県 高山市

「農薬やめたら、おいしくなったんよ」  
(毎年おいしくなるトマト)

化学農薬・化学肥料不使用でトマトを栽培してみえる中家さん。いったいどんなトマトなんだろう? どうやって栽培してみえるのかな? とわくわくどきどきしながら高山市丹生川町を訪れました。高山市の山間部にある中家さんのトマトハウスはなんと50棟、7.5hでトマトを栽培されていました。



1棟のハウス内には、高さ約2メートル奥行き約70メートルのトマトを栽培する棚が3列あり、私たちが中に入ると、まるで灼熱のジャングルのような様子でした。ハウスの中には、収穫を待つトマトがたわわに実っていました。「今年は5月から30度以上の猛暑で、トマトが弱っている」と少しぢれた葉を手にして話して下さいました。

化学農薬・化学肥料不使用栽培はじいちゃんのでんごころから

中家さんは生まれも育ちも高山。祖父・実父も農家一筋。高校生のころには、しぜんと農業をやろうと考えていたそうです。「農薬や化学肥料を使わずに育てた野菜の方が美味しいに違いない」という思いがありました。  
※しかし、慣行農業重視の父から「農薬を使用せずに採れるわけがない」と一蹴された。そんななか、祖父が中家さんのやる気を見て、父を説得してくれたとのこと。苦勞と工夫を重ねて栽培した有機トマトが、高山の朝市で「美味しい」と評判になり、トマト栽培の方向性が決まった。それは、今から40年前のことでした。

毎日が観察・研究・実践…  
苦勞や工夫が面白い!!

作物は天候や日照時間の読みが難しい。また昨今の温暖化の影響もあり、自然環境の変化に振り回されることが多く、苦勞の連続です。数々の失敗をしながら今では、「堆肥作りの名人」と言われていて「土をよくすれば、トマトは美味しく、栄養価も高くなる」と考え、ホタテ貝殻のカルシウム・カキ殻・海藻粉末などを投入して、土のミネラルを増やしています。緻密な土壌検査・分析・徹底した研究、そして設備投資。毎日観察し、常に栽培技術を磨いてみえます。最近では、環境・人・トマトにもっとやさしい栽培をめざして、そのための方法を探し導入することに努力をしてみえます。例えば、性フェロモンを利用したトラップで雄の蛾の交尾率を下げる防虫防除法があることを知れば、すぐ導入したり、納豆菌の病原菌を押さえる力を利用し、病害虫の発生を押さえたり、その培養液で除草したりしています。

中家さんのトマトはとびきりのごちそう

「アイチョイスのみなさんには、たくさん利用してもらっています。コロナ禍以降、久しぶりの見学で、うれしい」と中家さんは満面の笑顔で迎えてくださいました。トマトのジャングルを歩きながら、うれしそうにたくさんのお話をさせていただき、その中でも、次の言葉がとても印象に残っています。「トマトの好きな人が来るとトマトが元気になる。トマトが苦手な人がくると、トマトの調子が悪くなる。トマト自身に『気』を感じる力がある。堆肥の微生物が関係して、そういう力があるのでは、と感じている。」高ミネラルで栄養価の高い、しかも美味しいトマト。中家さんの日々研究と、トマト愛あふれる中家さんのトマトは最高のごちそうです。[理事K.Y]



※慣行農業…法律で認められた農薬、肥料を基準の範囲内で使う一般的な栽培方法

理事活動 テーマ会 吉村茶園訪問 10/4 ■中津川市

ほうじ茶でお馴染みの吉村茶園さんは、70年以上も農薬や化学肥料を使わないで栽培をしている生産者さんです。

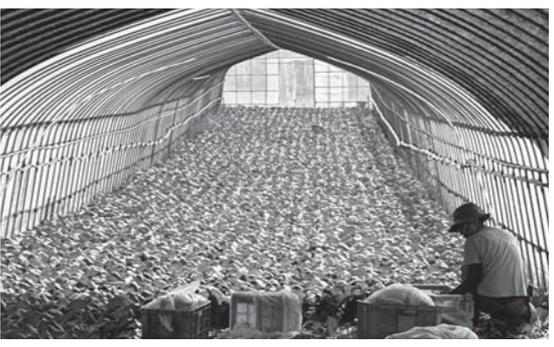


この日の天気予報では中津川は雨となっていました。茶畑を見学している間は曇っていて、組合員の皆様も傘をささないで斜面に広がる一面の緑を堪能することができました。5月に新茶を摘み、次は7月に刈り取り、この時期に伸びた芽はそのまま越冬させて3月に刈って番茶になるそうです。皆さんはご存じでしょうか? お茶の葉は刈り取った後洗わないで加工されることを。吉村さんが言われるには、洗ってから加工しているのは鹿児島県だけで、噴火による灰で茶葉が汚れるからだそうです。

お茶の葉は、みの虫や茶毛虫が付きやすいので、通常の栽培をしている所は10回以上の農薬を散布するそうです。雨が降って葉から農薬が流れても地面に落ちて木が吸い上げる…「生産者の立場でそういう話をする、他の生産者から苦情が来るのでなかなか本当のことが言えない。消費者の皆さんには安心して飲んでもらえるお茶を届けたいから一人でも多くの方に教えてあげてください。」と言われたことが、とても印象に残りました。茶葉を刈り取って製品になるまでには、10種類以上の高価な特殊な機械が必要で、買い替えたりしていると商売としては採算が合わないそうです。でも、皆さんが喜んでくださるから続けられると熱く話してくださいました。温かいおもてなしをしていただき、組合員の皆様も理事、職員一同感謝の気持ちでいっぱいでした。[理事H.I]

理事活動 産直委員会 関東視察 10/6~7 ■茨城県 つくば市 他

関東の有機農家さん4件の圃場見学とお話をうかがいました。1日目は関東平野の広い圃場のふしちゃんファームとオーガニックハイツへ、2日目は笠間市のカモスフィールドと石岡市のJAやさどへ。ふしちゃんファームではほとんどがハウス栽培で有機農業がちゃんと仕事として成り立つように「高品質・適正価格・安定供給」ができるよう追求された圃場でした。オーガニックハイツでは露地栽培がほとんどで旬の野菜にこだわって作って見えました。



中山間地域のカモスフィールドでは有機農業を「微生物のお世話」として土中の微生物が快適に暮らせる環境、発酵させていい土壌をつくり畑に作物を作ってもらおうという考え方で。JAやさどでは有機栽培を始めたい人の育成から応援まで行なう、全国でもめずらしい農協で有機栽培部会は全員が有機JAS認証を受けています。一言で有機農業と言ってもすべての生産者さんで考え方、栽培法、なにもかもが違っていました。これからも日本の有機農業が若い生産者さんにも広まって行くように私達も勉強して広めていかなければならないと思った2日間でした。[理事M.Y]

生協よりのお知らせ

理事会報告

2024年度 第3回理事会

2024/8/22 生協富加センター会議室 他  
出席:理事10名(11名中) 監事3名(3名中)

【協議決定事項】  
賃金規則改定について  
日本生協連呼びかけ「教育費負担軽減・奨学金制度改善に向けたアピール」について  
アイチョイスグループ全体活動への参加状況について  
2024年7月31日現在の2項組合員について

【報告事項】 月次決算報告について

供給高	7月	219,085千円	予算比 (99.8%)
	7月までの累計	825,977千円	前期比 (118.4%)
経常剰余金	7月	-351千円	予算比 (99.5%)
	7月までの累計	592千円	前期比 (110.6%)

仲間づくり(組合員拡大)

加入件数	7月	7月末の組合員数
	333件(計画294件)	20,132人
		前期比 (110.2%)

CO-OP共済

加入件数	7月	7月までの累計
	11件(計画23件)	41件

2024年度 第4回理事会

2024/9/26 生協富加センター会議室 他  
出席:理事9名(11名中) 監事3名(3名中)

【協議決定事項】  
「天笠啓祐さん講演会」合同開催に関する費用の提案について  
監事会より 2024年度監事監査方針と監査実施計画について  
2024年8月31日現在の2項組合員について

【報告事項】 月次決算報告について

供給高	8月	197,160千円	予算比 (103.0%)
	8月までの累計	1,023,137千円	前期比 (105.2%)
経常剰余金	8月	1,771千円	予算比 (100.1%)
	8月までの累計	2,362千円	前期比 (109.5%)

仲間づくり(組合員拡大)

加入件数	8月	8月末の組合員数
	227件(計画283件)	20,238人
		前期比 (109.8%)

CO-OP共済

加入件数	8月	8月までの累計
	10件(計画22件)	51件
保有件数	8月	2,191件 (前年比+35件)